

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 田主丸中学校プラン

《学校の教育目標》ともに未来を切り開く「人間力」を身につけた生徒の育成

〈本年度 学校の重点目標〉『優しさ』『やる気』『やりぬく力』を備えた生徒の育成

自然、人間、社会の真実の姿を求め、知見と視野を拡げ、身近な現実の問題を追求し、自己の生活に生かすことができる。【つくる力】

身近なことから学習課題を追求し、自分の考えを場にに応じた表現ができ、クラスの友達と話し合いながら協働できる。【つなぐ力】

相手を生かし、自己を生かして互いに協働する人間としての結びつきをあきらめずにつくっていくことができる。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ① 学力向上プラン「視点2」に記載
- ② 本時のねらいや活動を絞り、基礎・基本を明確化する。学びやすい授業で、グループ内の交流を通し、自分の考えを深めたり見直したりする。(全教科・単元毎)
- ③ ICTを活用して教材の提示、情報収集、ドリル、写真等での記録を行う。(全教科・単元毎)  
【成果指標】「ICTを活用した授業で自分の考えが深まった」と答える生徒の割合が80%以上
- ④ 教員のスキルアップのための研修と実践交流会の実施(月1)、スピーチ・プレゼンのテスト(毎学期)、ALTを効果的に使い、オールイングリッシュ・ペア活動でのフォロー活動(毎時間)

笑顔の先生

- ① 学力向上プラン「視点4」に記載
- ② 会議は必要最小限のメンバーで開催(月1回)  
会議資料は、1つの議案につきA4判1枚(毎回)  
【成果指標】「学校には、子どもの学習や生徒同士のトラブル等の相談が気軽にできる」と答える割合が85%以上

協働する学校・家庭・地域

- ① 地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ② 地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③ 学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ① 「田主丸中アクションプラン」に基づき、担任を中心とし全職員で不登校解消のための取組を行う。  
いじめ問題には、全職員で見守り、チェックリストによる早期発見・早期対応を行う。(毎月)  
【成果指標】不登校生徒数が4人以下、いじめの認知件数が20%増加(昨年比)
- ② 生徒指導部が主となり、交通ルールを遵守すること、生徒会活動による「マナーの向上」や道徳教育、人権学習を通して「自他の生命を尊重する意識と態度」を高める取組を行う。(毎学期)
- ③ ブロック活動を生かした学校行事による帰属意識の高揚をアンケート等で図る。(行事毎)  
基本的な生活習慣(時・場・礼)が定着できるよう生徒会活動による点検・評価。(毎日)

【体力向上】

- ① 柔軟性・持久性・瞬発性を強化し、ケガをしないための準備運動の実施と徹底
- ② 田主丸中体幹トレーニング  
(「1校1取組」運動)  
・体力アップシート活用率:目標100%

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ① 「あいさつ運動」で校内であいさつがとびかう。(毎日)
- ② そうじを時間いっぱい行い、生徒会美化委員会による評価(学期1回)
- ③ 定期考査に合わせて、家庭学習100時間の取組を行う。(年3回)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「環境づくり」「人間関係づくり」「学習活動づくり」という人権尊重の視点に立った学校づくりを行う。(第3次とりまとめより)[要綱P～参照]
- 【特別支援教育】特別支援教育「推進プラン」「推進計画」「推進ガイド」を活用し、同学年やコーディネーターによる協働的な支援を行う。[要綱P～参照]
- 【キャリア教育】「キャリアパスポート」の活用、自己のキャリア形成を図る。[要綱P～参照]